

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	D 建設・整備事業	
事務事業名	大仙公園整備事業				事業番号	019-073	
担当部署名	建設局	局	公園緑地部	部	公園緑地整備課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5. 強くなやかな都市基盤 ～Resilient～		施策	(3)ゼロカーボンシティの推進	
			有	取組の方向性	①脱炭素型都市構造・社会システムの構築				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—				
			有	現状値	—		目標値	—	
			有・無	ゴール	ゴール(15)陸の豊かさを守ろう		ターゲット	15.1,15.2,15.5	
2	関連計画	施策との関連	有・無	取組	都市緑化の推進				
			有	指標名	都市部における緑地面積※市全域から南部丘陵エリアを除いた緑地面積				
		寄与するKPI	有・無	現状値	2,261ha(2022年度)		目標値	2,264ha(2025年)	
3	事業開始年度				昭和 38 年度		点検対象年度（個別計画）		令和 12 年度
4	実施根拠				都市計画法、都市公園法、堺市公園条例				

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁		
6	事業の対象	公園を利用する市民及び国内外からの来訪者	対象数	単位
			—	—
7	事業の目的	令和元年 7 月に世界遺産に登録された百舌鳥・古市古墳群に隣接する本市のシンボルパークである大仙公園について、「大仙公園基本計画」に基づき、世界遺産の構成資産である古墳の保全・継承や、世界の人々を迎え入れるおもてなし空間の創出を目的に整備を行う。		
8	事業内容	【JR百舌鳥駅周辺の整備】 ・事業認可区域内の用地取得（大仙町、百舌鳥夕雲町2丁地区） ・用地取得に伴う測量業務、支障物件調査業務、不動産鑑定業務などの実施。 ・長塚古墳周辺における整備の検討・実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—		
9	主な支出先	公益社団法人 大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	事業認可区域内の用地取得面積	㎡		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	1,402	1,355	2,368	2,368
			実績値	2,145	374		
達成率			153%	28%			
当該指標を選定した理由		JR百舌鳥駅周辺整備時期に合わせて用地取得とした場合の指標					
目標値の設定根拠・算出方法		事業認可区域（約3.2ha）のうち未取得の用地をJR百舌鳥駅周辺整備時期までに取得とした場合の平均値					

12	活動指標	単位		実績		目標	
	用地取得に伴う境界確定測量の実施	㎡		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	1,402	1,355	2,368	
			実績値	445	242		
達成率			32%	18%			
当該指標を選定した理由		用地取得するためには、境界を明確にする必要があることから、測量を先行して実施することが、成果目標の達成につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		事業認可区域（約3.2ha）のうち未取得の用地をJR百舌鳥駅周辺整備時期までに取得とした場合の平均値					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	大仙公園整備事業	事業番号	019-073
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	23,722	10,037	31,935	11,250	14,260
	財 源					
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	3,300	20,000	5,200	4,600
	その他（ ）	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	23,722	6,737	11,935	6,050	9,660
14	人件費（b）	16,200	8,100	8,400	8,400	8,700
15	年間経費（c）=(a)+(b)	39,922	18,137	40,335	19,650	22,960

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R7	R8				R7	R8		
16	事業費内訳	用地購入のための支障物件調査委託	決算	5,669	1,569		決算			
			予算	4,200	1,100		予算			
	整備工事費		決算	2,616	2,616		決算			
			予算	5,000	5,000		予算			
	工事設計、測量等委託（用地測量業務）、整備検討業務		決算	1,557	457		決算			
			予算	4,000	2,500		予算			
	手数料（不動産鑑定手数料）		決算	1,335	1,335		決算			
			予算	1,000	1,000		予算			
	消耗品費（収入印紙代）		決算	73	73		決算			
			予算	60	60		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区 分		単位	令和6年度	令和7年度
	①	事業認可区域内の用地取得面積	m	2,145	374
	②	上記①にかかる年間経費	千円	18,137	19,650
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	8,456	52,540
	算出についての説明等				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和7年度の事業認可区域内の用地取得面積は用地交渉の進捗により374㎡であった。また、用地取得に必要な測量業務を3件、支障物件調査業務を2件実施するなど、事業目的の達成に向けて用地取得に必要な業務を着実に推進した。単位当たり経費が前年度より高くなった理由としては、令和8年度に取得見込みである用地に関する業務を実施したため。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	令和7年度は今後のJR百舌鳥駅周辺の公園整備に向け、事業認可区域内の用地を取得し、また、用地取得に必要な測量や支障物件調査、不動産鑑定などの業務を実施することで、公園整備の準備を着実に進めた。 なお、大仙公園整備については、都市計画道路出島百舌鳥線の事業進捗や、観光、世界遺産の関連計画等と連携して、エリアマネジメントを行いながら事業推進している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	大仙公園は、世界遺産である仁徳陵天皇陵古墳等を包含する総合公園であり、本市のシンボルパークとして、未整備区域の用地取得と施設整備を推進している。令和3年度以降も着実に用地取得を進め、事業は順調に進捗している。堺市基本計画2030に掲げる世界遺産・大仙公園エリアの空間像の実現に向け、関連計画と連携して当該事業を推進することで、観光魅力の向上と来訪者数の増加に寄与し、KPI達成が期待できることから、事業の必要性・有効性は高い。
	有効性	■ 高い □ 低い	